

総合単元名	あたたかい心をとどけよう		10月～11月	全11時間
めざす子ども	あたたかい心で、進んで親切にする子			中心項目 2-(2)
ねらい	身近な人や困っている人に対して、思いを向け、温かい心で接し、進んで親切にしようとする態度を育てる。			関連項目 2-(3)
<p>単元設定の理由</p> <p>2年生の児童は、仲のよい友達が困っている時に進んで声をかけたり、助けようと行動したりすることができる。しかし、自分より弱い立場であると感じる児童に対してきつい言葉を言ったり、命令口調になったりする児童の姿も見られる。そこで、仲良しの友達はもちろんのこと、他の身近な友達や他の人にも広く目を向け、温かい心で接し、親切にすることの大切さに気付かせ、進んで親切にしようとする態度を育てたいと考え、本単元を設定した。</p>				
時期	教科・特別活動	道徳の時間	常時活動 家庭との連携	子どもの意識の深まり
10月	<p>①体育科 10月(1時間) 「表現リズム遊び」 踊り方を互いに教え合い、練習に取り組むことができる。</p>	<p>②&lt;友情、助け合い&gt; 2-(3)10月(1時間) 「ひろったビスケット」 主題名：友だちっていいな 他のありさん達が、カステラをとっておいて、励ましてくれた時の「はなこ」の気持ちを考えることを通して、友達と助け合うといろいろなことができることに気づき、友達を大切にしようとする心情を育てる。</p>	<p>(◆係・当番活動) 友達にやさしい声をかけながら活動することができる。</p>	<p>◆当番を忘れていて、友達がやさしく声をかけてくれていい気持ちになったよ。</p> <p>①覚えられないところを教えてもらってうれしい気持ちになったよ。</p> <p>②はなこは、ありたちがはなこたちのためにしてくれたことがうれしかったんだな。ぼくは、ありたちのようにできるかな。</p>
11月	<p>③国語科 10月(1時間) 「お手紙」 友達に対するやさしい気持ちを感じながら読むことができる。</p>	<p>④&lt;思いやり・親切&gt; 2-(2)11月(1時間) 「しっぽのないさる」 主題名：あたたかい心をとどけよう (本時) モンちゃんが、友達の励まして明るくなっていくときの気持ちを考えることを通して、温かい気持ちで接すると、相手も自分も嬉しくなることに気づき、相手のことを考えて親切にしようとする心情を育てる。</p>	<p>(★業間遊び) 友達にやさしい声をかけながら、仲良く遊ぶことができる。</p>	<p>③かえるくんは、がまくんのことを思っているんだね。どちらもうれしくなるね。</p> <p>④友達がやさしくしてくれたからモンちゃんは元気になるんだな。友達に優しくすることって大切だな。</p> <p>⑤友達や1年生が困っていたら、一緒に練習しながら助けてあげたいな。</p> <p>★友達に優しく声をかけてあげたいな。</p>
	<p>⑤音楽科 11月(3時間) 「いろいろな音に親しもう」 友達と心を通わせながら歌や楽器の練習ができる。</p>	<p>⑥&lt;思いやり・親切&gt; 2-(2)11月(1時間) 「ぐみの木と小とり」 主題名：あたたかい心で姿を見せなくなったリスを心配するぐみの木や、リスの家にぐみを持って行く小鳥の気持ちを考えることを通して、身近な人に温かい心で接することで相手を喜ばせることができることに気づき、進んで親切にしようとする態度を育てる。</p>	<p>(■帰りの会) 「今日のきらり」で友達に優しくしてもらってうれしかったことを発表し、認め合うことができる。</p>	<p>⑥小鳥は親切に接しているよ。相手のことを考えて温かい気持ちで接することが大切だな。これから困っている人のことを考えていきたいな。</p> <p>⑦1年生に親切にしたら喜んでくれたよ。これからも、親切にしていきたいな。</p> <p>■友達にやさしく接すると、喜んでくれたから、ぼくもいい気持ちになれたよ。これからも友達に親切にしていきたいな。</p>
	<p>⑦生活科 11月(3時間) 「わくわくどきどきフェスティバル」 フェスティバルの活動を通して、1年生に親切にすることができる。</p>			
<p>あたたかい心で、進んで親切にする子</p>				

# 「道徳の時間」学習指導案

指導者 村上 政紀

- 1 日時 平成26年11月7日(金) 第5校時
- 2 学年 野々浜小学校 第2学年 男子16名 女子12名 計28名
- 3 主題名 あたたかい心をとどけよう  
中心項目 2-(2)〈親切〉  
関連項目 2-(3)〈友情、助け合い〉
- 4 ねらい モンちゃんが、友達の励ましで明るくなっていくときの気持ちを考えることを通して、温かい気持ちで接すると、相手も自分も嬉しくなることに気づき、相手のことを考えて親切にしようとする心情を育てる。
- 5 資料名 しっぽのないさる (出典:「生きる力」 日本文教社)

## 6 主題設定の理由

- よりよい人間関係を築くには、相手に対する思いやりの心が不可欠である。思いやりとは、相手の立場を押し量り、自分の思いを相手に向けることである。そして、その思いが、温かく見守り接することや、相手の立場に立った励ましや援助などを含む親切な行為などとして表れることが期待される。

この時期の児童は、友達関係がしたいに定着し、親密さが増してくる。その中で、友達にやさしく接しようとする場面も多く見られるようになる。しかし、友達と仲良くしようという意識はあるが、自分の都合を通そうとしたり、仲の良い友達でなければ、困っている状況にも気づきにくかったりすることもある。そこで、日々の生活の中で、身近な人に広く目を向け、困っている人に温かい心で接していくことで、相手も自分も嬉しくなることに気付かせたいと考え、本主題を設定した。

- 本学級の児童は、友達と関わる中で、優しく接したいという思いを持ち、親切にしようという心がけている児童が多い。事前アンケートで、「友達にやさしくしてもらったことはありますか。」という問いに対して、96%の児童が肯定的な回答をしている。また、「友達にやさしくしていますか。」の問いに92%の児童が肯定的な自己評価をしている。ここから、学級の中には、周りの人にやさしくすることは大切なことだという雰囲気、広がりつつあると考えられる。しかし、具体的な場面を尋ねてみると、「いつも一緒にいる友達を遊びに誘った。」「本を見せてあげた。」などが多く、「友達が困っていたから、声をかけた」などの広く周りの友達に目を向け、自分から関わっていったという内容を回答した児童は30%だった。つまり、周りの人にやさしくすることが大切なのは分かっているが、まだ自分の思いが先行したり、日ごろ親しくしていない人であれば、困っていることに気付かなかったりする段階にあると考えられる。
- 本資料は、しっぽのないサルになってしまい、友達と遊ぶことをためらっていたモンちゃんが、友達からの温かい言葉や気づかいにより、しっぽがないこともわすれて、みんなと楽しく遊べるようになるという話である。

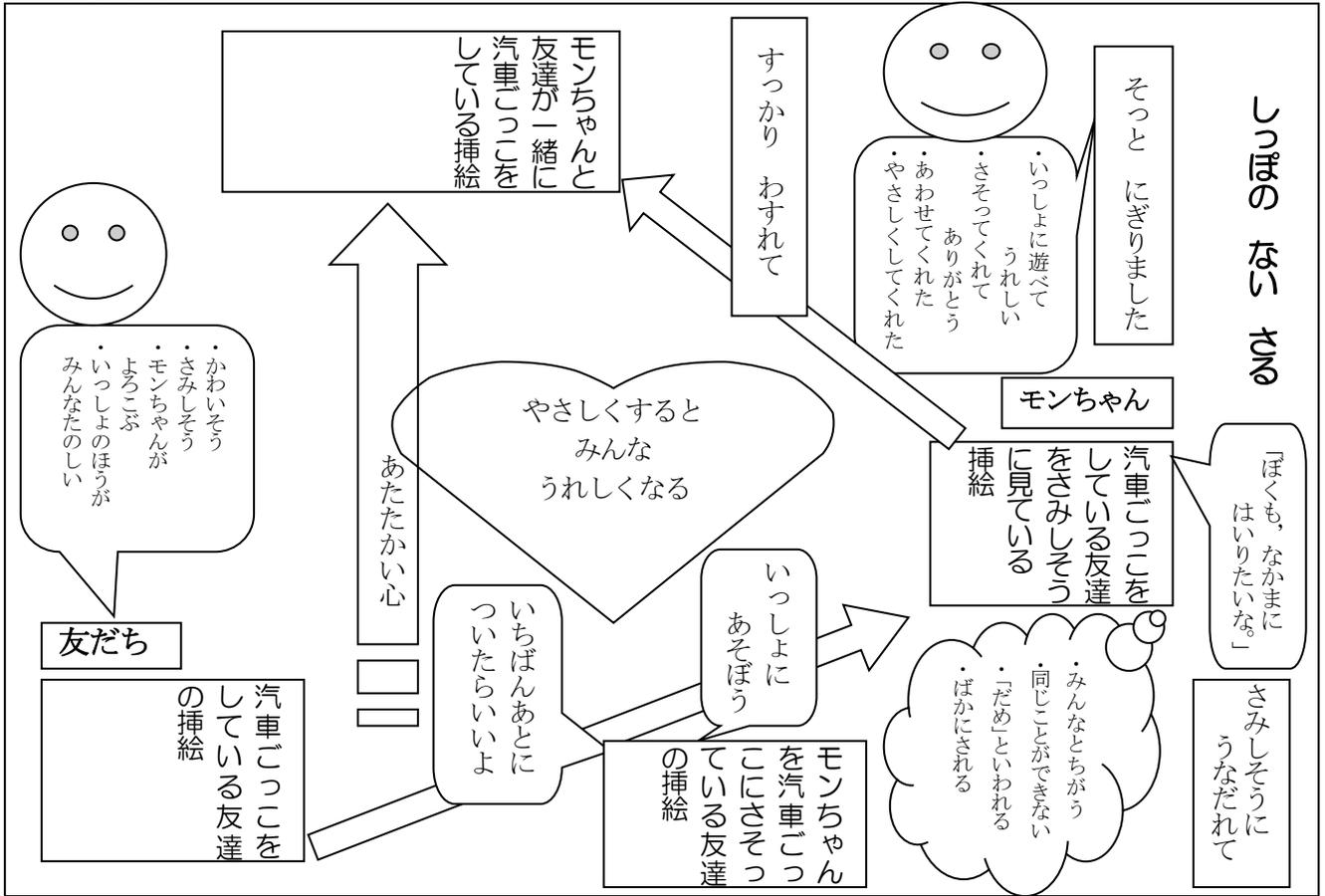
指導にあたっては、「モンちゃん」の気持ちの変化を考えさせながら、ねらいに迫っていきたい。導入では、「友達といて楽しいと感じるのはどんな時か」と尋ね、学習への方向付けをする。展開前段では、資料を提示しながら、楽しそうな友達の中に入れないモンちゃんの気持ちを考えさせることで、モンちゃんがさみしくつらい思いをしていることに気付かせたい。そのために、友達が遊んでいる様子を見ているモンちゃんの様子を動作化することにより、しっぽがないことで不安を感じ、友達と遊ぶことをためらっているモンちゃん的心情をつかみやすくする。中心発問では、「モンちゃんは、みんなと楽しく遊びながら、どんなことを考えているでしょう」と問い、友達のサルからとどけられた温かい言葉や気づかいによって、モンちゃんが安心して友達と遊べるようになったことや、優しく接したことで、その場にいたみんなが楽しい気持ちになったことに気付かせたい。その際、ワークシートを活用し、自分の考えをまとめさせる。そして、座席表を用いて児童の考えを見取り、意図的指名をすることで、道徳的価値を深めていく。展開後段では、自分自身を見つめさせ、友達に優しくすると、相手も自分も心が温かくなることを感じさせたい。

学習後には、帰りの会の「今日のきらり」で友達に優しくしてもらってうれしかったことなどを伝え合い、あたたかい心で親切にするよさを実感させていく。

- 7 準備物 場面絵、ワークシート

	学習活動	主な <sup>ア</sup> の動き 小2-2	支援(○)・評価(★)・手立て(◎)
導入  展開	1 意欲を高める。	○友達として「たのしい」と感じるのはどんな時ですか。 ・さそってくれた時 ・お互いに好きなことをしている時	○楽しそうな友達の中に入れていないモンちゃんの心情に寄り添うきっかけを作り、学習への方向付けをする。
	2 資料前段・中段を聞いて、しっぽのないさるになったモンちゃんの気持ちを考える。	○楽しそうに遊んでいるともだちを見ながら、モンちゃんはどんなことを思っているでしょう。 ・しっぽがないことを知られたくない。 ・みんなと違うのが、いやだ。 ・いっしょにあそびたいな。 ・しっぽがないから、いっしょにできない。 ・「入れて」と言っても、きっと「だめっ」と言われるだろう。 ・ばかにされるかも	○動作化をさせることにより、寂しそうにうなだれているモンちゃんの気持ちに、共感させる。
展開  終末	3 資料後段を聞いて、モンちゃんが、友達の励ましで明るくなっていくときの気持ちを考える	◎モンちゃんは、みんなと楽しく遊びながら、どんなことを考えているでしょう。 <A:誘ってくれてうれしかった> ・一緒にあそべて、うれしい。 ・自分に気がついてくれてうれしい。 <B:やさしさが感じられた> ・さみしい気持ちを分かってくれた。 ・優しい言葉をかけてくれて、ありがとう。 <C:自分の身になって考えてくれた> ・ぼくでもできる方法を言ってくれた。 ・みんながぼくに合わせてくれた。 <D:しっぽのないことを気にしなくてよくなった> ・しっぽがなくても友達なんだと思えた。 ・自分もみんなと同じなんだと思えて、安心できた。  〔 価値に迫る発問 〕 ●友達は、どんな気持ちでモンちゃんに声をかけたのだろう。 ・モンちゃんが一人でいて、さみしそうだったから。 ・かわいそうだと思ったから。 ・ほおっておけないと思ったから。 ・たくさんで遊んだ方が、楽しい。 ・モンちゃんのことを考えて、後ろに付くようにいったから。 ・モンちゃんが喜ぶと思ったから。 ・モンちゃんが喜んでいて、自分も嬉しくなると思ったから。	○挿絵のモンちゃんの表情の変化なども参考にして考えさせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">◎ワークシートに自分の考えを書くことを通して、モンちゃん的心情がどうして変わったのかを、じっくり考えさせる。</div> ○座席表で見取り、意図的指名に生かす。 ○児童の意見を整理しながら、モンちゃんが友達から大切にされた喜びを感じていることを押さえていく。 ○みんなで楽しく遊ぶ挿絵の表情に注目させることで、さみしそうなモンちゃんに声をかけ、仲間に入れてことで、友達のサルたちも「優しくしてよかった」と感じていることに気付かせる。  ★優しくすると相手も自分も嬉しいくなることに気付くことができたか。 ○考えた道徳的価値に照らし合わせ、今までの生活の中での自分自身を具体的に振り返らせる。
	4 自分を振り返る。	○みんなも、このお話のように、やさしくしてよかったと思っことはありますか。 ・休憩時間に一人にいる友だちに、「一緒に遊ぼう」と声をかけたら、笑顔になったので、「よかった」と思った。 ・やり方が分からなくて困っていた友達に、「～したらいいよ」といったら、自分もいい気持ちになった。	○児童が書いた作文を紹介し、周りの人にやさしくすることは、自分の身近なところにもあることを感じ取らせる。 ○ワークシートを活用し、本時の道徳的価値について、まとめさせる。 ○進んであたたかく接していこうという思いを取り上げる。
終末	5 児童作文を聞き、学習のふりかえりをワークシートに書く。	○みんなの中にも、友達にあたたかい心をおくっている人がいるので、紹介します。 ・やさしくすると、とても喜んでくれるんだな。 ・周りの人に優しくすると、した方もされた方もいい気持ちになるんだな。	

9 板書計画



10 ワークシート

この頃の なつくる 名前 ( )

モンちゃんは、みんなとたのしくあそびながら、  
どんなことを考えているでしょう。

モンちゃんが  
友達とたのしく  
汽車ごっこを  
している挿絵

きょうの学しゅうをふりかえって、考えたことを書きましょう。

--	--	--